

【作品名】 学習ボックス	【学校名】 日立市立助川小学校
【活用できる領域・教科等】 国語科、算数科（数の認知）、自立活動	【制作者名】 塚元 倫子
【制作の意図】 この教材は、日立特別支援学校見学の折にご紹介いただいたもので、早速取り入れさせていただきました。 ・学習の流れをつかみやすく、見通しをもつことができる。 ・箱の中から何が出てくるか、わくわくしながら学習を進めることができる。	【使用方法】 ・学習ボックスの番号通りに学習を進める。上から順に箱を取っていく。 （箱の中には学習する道具が入っている） ・学習カードとマッチさせながら学習を進める。
【制作上の工夫】 ・同じ型の箱を用意して、積み重ねられるようにした。 ・わかりやすいように番号づけをした。 ・学習カードも同時に使えるようにした。 ・箱とカードに、同じ数字カードを付けて、両方を見合わせられるようにした。	【見取り図】（学習の流れの一つとして）  ・上から順番に一つずつ取っていく。 ・箱がどんどん減っていく。
【写真】 ▼学習ボックス  ▼学習カード 	  ・箱がなくなったら終わり！
【材料・材質・部品等】 プラスチック箱 色画用紙 ファイル 磁石	【使用効果と応用発展】 ・低学年児童だけでなく、中学年、高学年児童も好んで使用した。 ・順番を意識して見通しをもって学習することに役立っている。 ・中身が見えないことで、「次は何かな」というわくわく感をもつことができた。 ・学習カードと組み合わせることで、振り返りや評価を示すことができる。 ・学習量が視覚的に確認できる。学習が進むにつれて箱の高さが低くなっていくことで、「もう少しだ」と意欲を持続することができた。